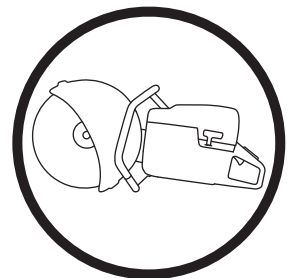


取扱説明書
K 1250
K 1250 Rail

パワーカッターをご使用になる前にこの取扱説明書を注意深くお読みいただき、
内容を必ずご確認ください



Japanese

シンボルマークの意味

シンボルマークの意味：

警告！不注意な取扱や誤った取扱は、作業
者や周囲の人などに深刻な、時には致命的
な傷害を引き起こすことがあります。



パワーカッターをご使用になる前にこの
取扱説明書を注意深くお読みいただき、
内容を必ずご確認ください



常に下記のものを着用してください。

- ・ 防護ヘルメット
- ・ イヤマフ
- ・ 保護メガネまたはバイザー
- ・ 呼吸マスク



本製品は、適用される EC 指令に準拠して
います。



警告！切断の際には粉塵が発生し、人体
に吸い込まれると危険です。適切な呼吸
マスクをご使用ください。ガソリンの蒸
気や排気を吸い込まないように注意して
ください。常に換気を十分に行ってくだ
さい。



警告！カッティングブレードから発生する
火花から以下の可燃物に引火することがあ
ります。ガソリン、木材、乾燥草など。



環境に対する騒音レベルは EC 指令に準
拠。本機の騒音レベルは、主要諸元の章と
ステッカーに記載されています。



取扱説明書のシンボルマーク：

点検やメンテナンスを行うときは、まず停
止スイッチを STOP の位置にして、エンジ
ンを切ってください。



作動ポジション。



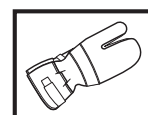
停止、リターンズプリングは操作ポジ
ション。



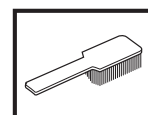
停止、固定ポジション。



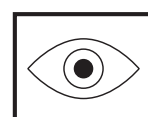
常に保護手袋を着用してください。



定期的な清掃が必要です。



目視点検。



保護メガネまたはバイザーを必ず着用して
ください。



マシンに付いている他のシンボル/ステッカーは、諸地域固
有の各種基準に対応したものです。

目次

目次

シンボルマークの意味

シンボルマークの意味： 2

取扱説明書のシンボルマーク： 2

目次

目次 3

各部名称

パワーカッターの各部名称 - K1250 4

各部名称

パワーカッターの各部名称 - K1250 レール 5

安全注意事項

新しいパワーカッターをお使いになる前に 6

使用者の身体保護具 6

安全に関する予備知識 7

パワーカッターの安全装置 8

カッティングブレード 10

一般的な作業方法 11

組立

カッティングヘッドの組立 14

ドライブアックスとフランジワッシャの点検 14

カッティングブレードの取付 15

ブレード用ガード 15

レール固定装置の組立 15

燃料の取扱

燃料 16

給油 16

始動と停止

始動前に 17

メンテナンス

ドライブベルトの張り具合 18

ドライブベルトの交換 18

ベルトプーリーとクラッチ 18

キャブレター 18

燃料フィルター 19

エアフィルター 19

スターター装置 19

スパークプラグ 20

冷却システム 21

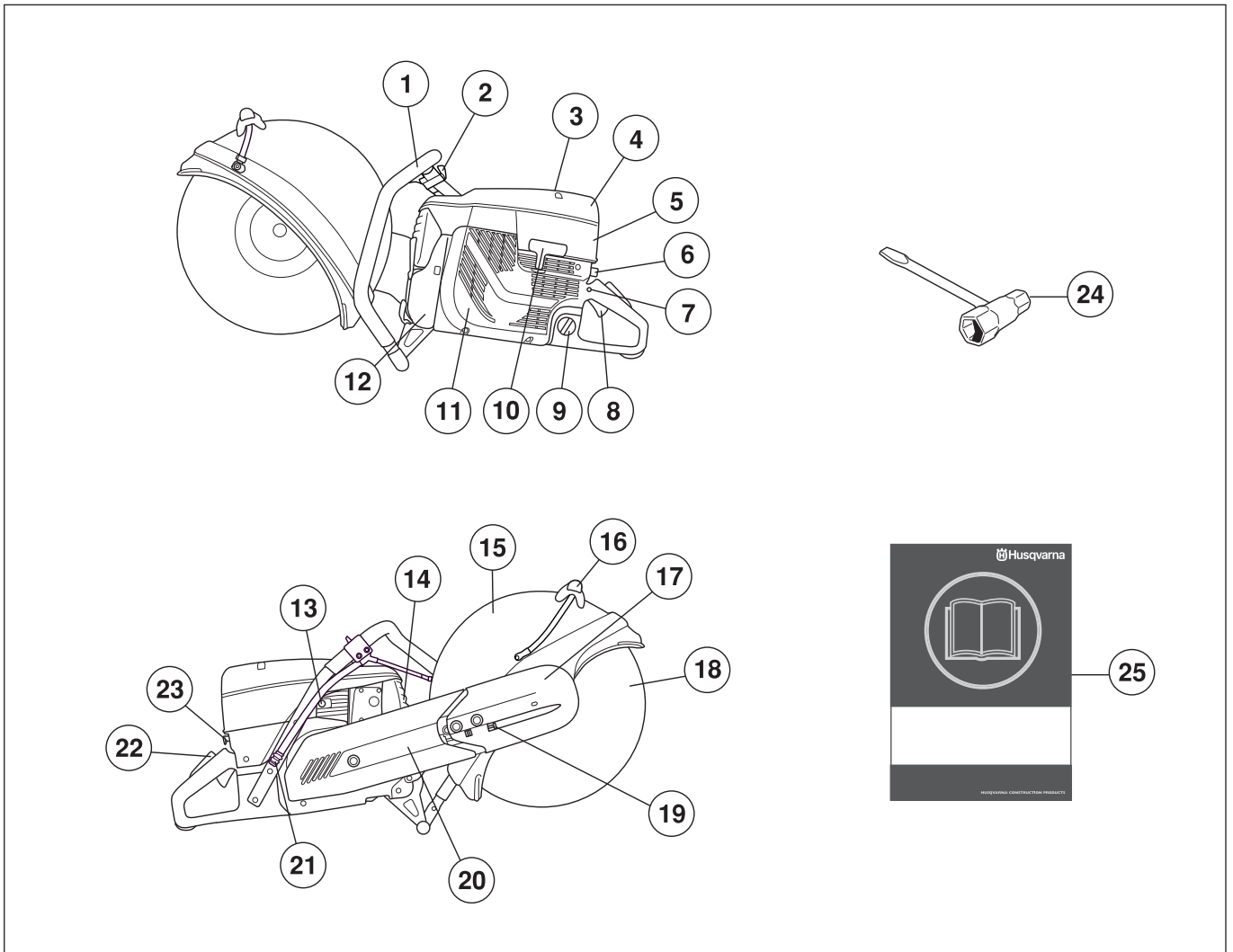
マフラー 21

一般的なメンテナンスの方法 21

主要諸元

カッティング装置 22

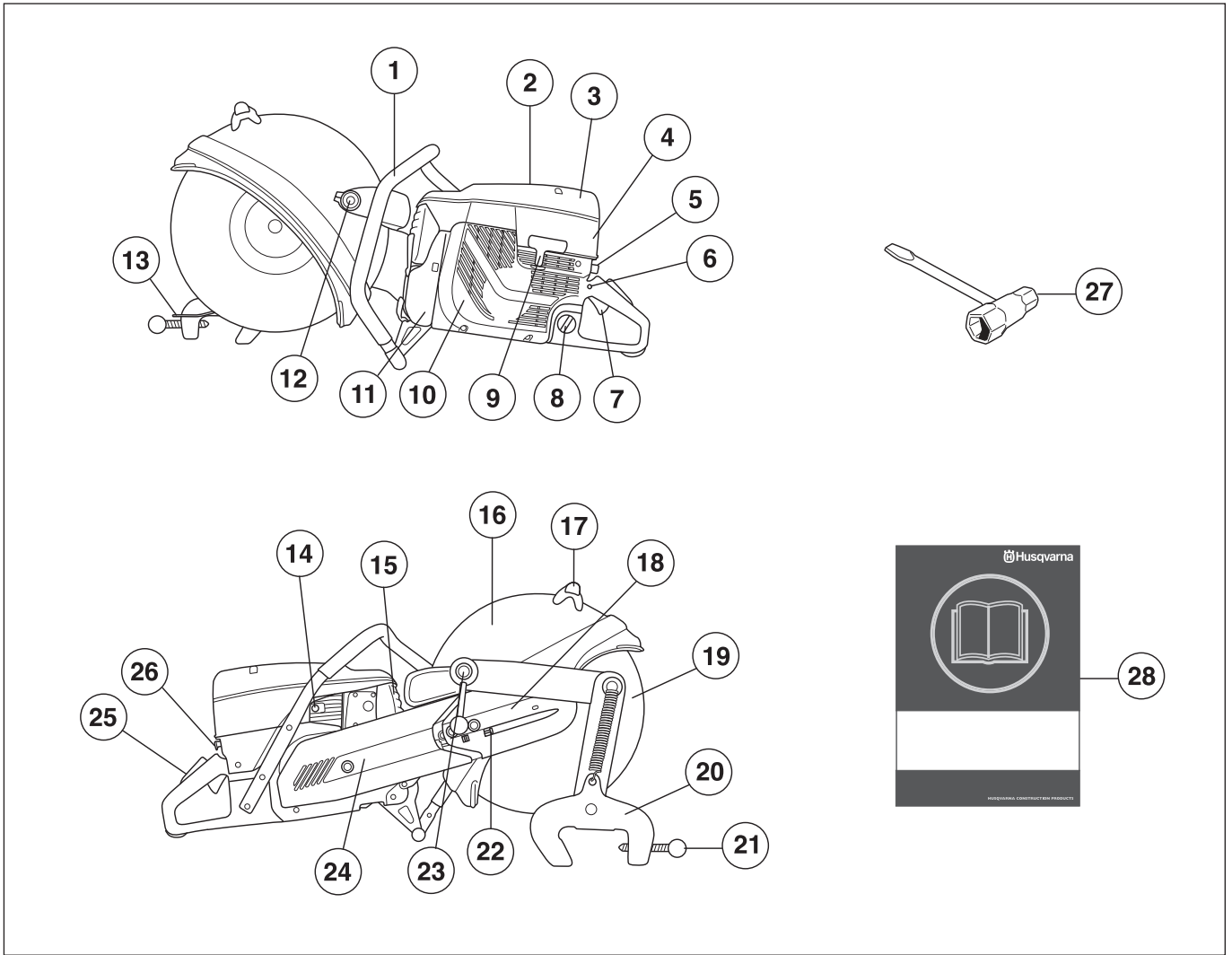
各部名称



パワーカッターの各部名称 – K1250

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 フロントハンドル | 14 マフラー |
| 2 水タップ | 15 ブレードガード/スプレーガード |
| 3 警告ステッカー | 16 ブレードガードの調整ハンドル |
| 4 エアフィルタ・カバー | 17 カuttingヘッド |
| 5 シリンダカバー | 18 カuttingブレード |
| 6 停止スイッチ | 19 ベルトテンションねじ |
| 7 スタートスロットル・ロック | 20 カuttingアーム |
| 8 スロットル・コントロール | 21 ウォーターコネクター |
| 9 燃料タンク | 22 スロットルロックアウト |
| 10 スターターハンドル | 23 チョーク |
| 11 スターター | 24 コンビレンチ |
| 12 型式銘板 | 25 取扱説明書 |
| 13 デコンプレッサー | |

各部名称



パワーカッターの各部名称 – K1250 レール

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 フロントハンドル | 15 マフラー |
| 2 警告ステッカー | 16 ブレードガード/スプレーガード |
| 3 エアフィルタ・カバー | 17 ブレードガードの調整ハンドル |
| 4 シリンダカバー | 18 カuttingヘッド |
| 5 停止スイッチ | 19 カuttingブレード |
| 6 スタートスロットル・ロック | 20 レール固定装置 |
| 7 スロットル・コントロール | 21 レールロックハンドル |
| 8 燃料タンク | 22 ベルトテンションねじ |
| 9 スターターハンドル | 23 パワーカッター・ロックハンドル |
| 10 スターター | 24 カuttingアーム |
| 11 型式銘板 | 25 スロットルロックアウト |
| 12 レール固定装置の取り付け具 | 26 チョーク |
| 13 カuttingガイド | 27 コンビレンチ |
| 14 デコンパバルブ | 28 取扱説明書 |

安全注意事項

新しいパワーカッターをお使いになる前に

- ・ パワーカッターをご使用になる前にこの取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。
- ・ カuttingブレードの取付具合を点検します。「組立」の章を参照してください。
- ・ エンジンを始動しアイドリングの設定を点検します。詳細は「メンテナンス」を参照してください。キャブレターが正しく設定されていると、Cuttingブレードはアイドリング時に静止状態になるはずですが、アイドリング速度の設定は取扱説明書に記載されています。説明に従って、適切な速度に設定します。アイドリング速度を正しく調整せずにパワーカッターを使用しないでください。
- ・ ハスクバーナの販売店に、定期的にパワーカッターの検査をさせ、重要な調整や修理を行わせてください。



警告！いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなく本機的设计に変更を加えないでください。つねに、純正の交換部品を使用してください。不認可的设计変更や付属品は、使用者やその他の人に重傷や致命傷を発生させる原因となることがあります。



警告！材料の切断、粉碎、穴あけ、サンディング、形成を行う機械を使用すると、人体にとって危険な化学物質を含んだ粉塵や蒸気が生成されることがあります。扱う材料の性質を理解して、適切な粉塵マスクまたは呼吸用保護具を着用してください。



警告！不注意な取扱や誤った取扱をすると、パワーカッターは危険であり、重傷や時には致命傷の原因となります。本書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。



警告！本機のイグニッションシステムは、運転中に電磁場を生成します。この電磁場は、場合によってペースメーカーに影響を及ぼすことがあります。重傷や致命傷の危険性を低減するため、ペースメーカーの使用者は、本機を使用する前にまず医師とペースメーカーの製造元に確認を取ることをおすすめします。

ハスクバーナ・コンストラクション・プロダクツは継続的に製品の開発を行っています。ハスクバーナは設計や外見などを予告なく変更する権利を有し、また、デザイン変更をそのつど発表する義務を負いません。

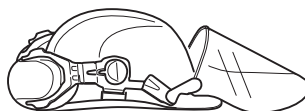
本書の情報およびデータのすべては、本書の印刷時に有効なものです。

使用者の身体保護具

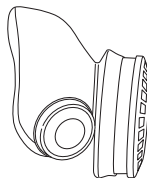


警告！本機を使用する際は、承認を受けた身体保護具を必ず着用してください。身体保護具で負傷の危険性を排除できるわけではありませんが、万一が事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。身体保護具を選ぶ場合は、パワーカッターの販売店にご相談ください。

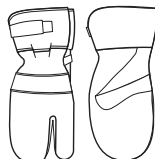
- ・ 防護ヘルメット
- ・ イヤマフ
- ・ 保護メガネまたはバイザー



- ・ 呼吸マスク



- ・ 高耐久性で、握りが確かな保護手袋



- ・ 体の動きを制限することのない、体にフィットした、丈夫で快適な服装



- ・ 切断材料に応じた脚部保護の使用
- ・ つま先部スチール製、ノンスリップ靴底のパワーカッター用防護靴



- ・ 常に救急箱を身近に備えてください



安全注意事項

安全注意事項

職場の安全

- ・ 濃霧、雨、強風、厳寒など、気象条件の悪いときは、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は、疲れやすく、また、地面が凍結するなど危険です。
- ・ 作業場所にある障害物を片付け、足場を確保してから切断作業を開始してください。予期しない障害物が移動してぶつからないように、注意を払ってください。切断時に切断物が安定を失い倒れて、障害を引き起こさないように注意してください。斜面での作業は特に注意が必要です。
- ・ 作業場の視界が十分に明るくなっており、安全な作業環境であることを確認してください。
- ・ 常に安全かつ安定した足場でパワーカッターを使用していることを確認してください。
- ・ 配管や電気ケーブルが、切断作業場に配置されていないことを確認してください。
- ・ 周囲を見渡してください。
 - 近くの人や動物、または他の物がパワーカッターの操作に影響しないことを確認します。
 - 上記のいずれもカuttingブレードに接触することがないことを確認します。



警告！パワーカッターの安全距離は 15 メートルです。操作者は、動物や傍観者が、作業場所にいらないことを確認する責任を負っています。切断は、作業場所に問題がなく、足場がしっかりしている場合にのみ、開始してください。

個人の安全

- ・ 身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。
- ・ 疲労時や飲酒後、視野・判断力・動作に影響を及ぼすような医薬品を服用している場合は、絶対に本機を使用しないでください。
- ・ 衣服や体の部分が、回転している状態の切断装置に接触しないようにしてください。
- ・ 切断装置が回転しているときは、安全な距離を保ってください。
- ・ マシンの運転時には、切断装置のガードが、常に取り付けられている必要があります。
- ・ 本機を室内で始動しないでください。エンジンの排気ガスを吸入すると危険です。



警告！換気が正しく行われていない場所では、マシンを使用しないでください。換気が不十分であると、重大な傷害や死亡を引き起こすことがあります。



警告！循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。振動が原因と思われる症状が出たときは、医師に相談してください。症状にはしびれ、感覚まひ、うずき、ちくちくする痛み、刺すような痛み、力が入らない、皮膚の色や状態の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手の甲、手首に現れます。

使用上の注意

- ・ パワーカッターは、石などの、硬い物質を切断するために設計されています。柔らかい物質を切断するときには、キックバックの危険性が増大することに注意してください。「キックバックを避ける方法」の項の説明を参照してください。
- ・ 何らかの改造を受け、出荷時の仕様とは異なっているパワーカッターは、絶対に使用しないでください。
- ・ 欠陥のあるパワーカッターは絶対に使用しないでください。本取扱説明書の内容に従って、点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、訓練を受け、資格のある専門家で行わなければならないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。
- ・ 本取扱説明書の内容を理解していない人には決して本機の使用を許可しないでください。
- ・ 切断装置が回転している状態のパワーカッターを移動させないでください。
- ・ 「パワーカッター安全装置の点検・メンテナンス・サービス」の項に記載された事項だけでなく、すべてのサービスは必ず訓練を受けた専門家が行ってください。

レール切断

- ・ レール切断を行うときは、火花が発生します。レール切断のための保護具を使用してください。
- ・ 切断中に発生する火花は、作業場所の周辺にある可燃性の物質を発火させることがあります。常に、適切な消火設備を準備しておいてください。
- ・ 切断中、本機を垂直に持ったり、上下を逆に持ったりしないでください。

搬送と保管

- ・ 片付け、搬送、保管の前には、パワーカッターからレール固定装置を取り外してください。固定装置が取り付けられている状態で、本機を持ち上げないでください。
- ・ カuttingブレードを付けたままパワーカッターを保管したり、運搬しないでください。
- ・ パワーカッターは鍵のかかる場所に保管し、子供や使用権限のない者がアクセスできないようにしてください。
- ・ 使用後はすべてのブレードを取り外し、注意してブレードを保管してください。Cuttingブレードは乾燥した霜の発生しない場所に保管してください。
- ・ 研磨ディスクは注意して取り扱ってください。研磨ディスクは必ず水平にして保管してください。研磨ディスクを湿気のある場所で保管すると、バランスが悪くなり、負傷の原因になります。
- ・ 新品のブレードは、運搬や保管による損傷がないか点検してください。

安全注意事項

燃料の安全について

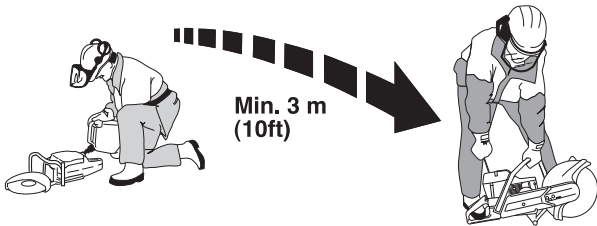


(給油・燃料の混合・保管)



警告！燃料の取扱には十分注意してください。火災発生や爆発、有毒ガスの吸引などの危険にご注意ください。

- ・ エンジンの作動中は絶対に給油を行わないでください。
- ・ 燃料の補給や混合（ガソリンと2サイクルオイル）を行うときは、十分に換気してください。
- ・ 給油後は、給油した場所から少なくとも3 m離れたところで始動してください。



- ・ 下記の条件では、決して本機を始動しないでください：
 - 燃料がこぼれた場合。きれいに拭き取り、表面に残った燃料が蒸発するのを待ちます。
 - 皮膚や衣服に燃料をこぼしたとき。まず着替えを行います。皮膚についた燃料を洗い流してください。石鹸と水を使用します。
 - 燃料が漏れている場合。燃料キャップと燃料ホースから漏れていないか、定期的に点検してください。
- ・ パワーカッターと燃料は、電気機器、電気モーター、リレースイッチ、ボイラーなど、火花や裸火を発生するものから離して保管・運搬し、液体漏れやガスによる火災発生の危険性をなくしてください。
- ・ 燃料の保管には、保管専用に承認された容器を使用してください。
- ・ パワーカッターを長期間保管するときは、必ず燃料タンクを空にしてください。余剰燃料の廃棄場所は最寄りのガソリンスタンドにご相談ください。
- ・ 流出防止バルブの付いている HUSQVARNA の燃料容器を必ずご使用ください。



警告！火災発生や爆発、有毒ガスの吸引などの危険にご注意ください。給油の前にはエンジンを止めてください。燃料が溢れないように、給油は満タンにしないでください。地面やパワーカッターの上にこぼれた燃料を拭き取ってください。燃料が作業員または作業員の衣服にこぼれた場合、衣服を着替えてください。給油後は、給油した場所から少なくとも3 m 離れたところで始動してください。

パワーカッターの安全装置

このセクションでは、パワーカッターの各種安全装置とその目的について、また、各安全装置が正しく機能するための点検やメンテナンスの方法について説明しています。安全装置の配置については「各部名称」を参照してください。



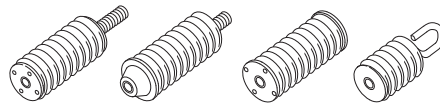
警告！安全装置に欠陥のあるパワーカッターは決して使用しないでください。このセクションの説明にしたがって点検、メンテナンス、およびサービスを定期的に行ってください。本機に関するすべてのサービス、修理には、特別な研修が必須です。本機の安全装置には、特にこのことが当てはまります。本機が下記の検査のいずれかに不合格であったときは、サービス代理店に連絡してください。弊社の製品を購入された場合、専門的な修理とサービスの提供が保証されています。パワーカッターを販売した小売店がサービス代理店ではない場合、最寄りのサービス代理店の住所を小売店にお尋ねください。

振動軽減システム

本機には振動軽減システムがついており、振動をやわらげ操作しやすくなっています。

本機の振動軽減システムは、エンジンユニットやカッティング装置とハンドル間の振動の伝導を軽減します。

切断装置を含むエンジン本体は、振動軽減ユニットによってハンドルを振動から守っています。



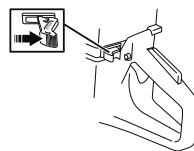
振動軽減システムの検査



- ・ 振動軽減システムにヒビや変形がないか、定期的に点検します。
- ・ 振動軽減システムがエンジンユニットとハンドルユニットにしっかり固定されていることを確認します。

停止スイッチ

停止スイッチはエンジンを切るときに使用します。



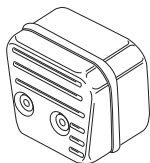
停止スイッチの検査

- ・ エンジンを始動し、停止スイッチを停止設定にしたときにエンジンが停止することを確認します。

安全注意事項

マフラー

マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、直接、排気ガスから使用者を防ぐ働きをします。



警告！使用中および使用直後のマフラーは非常に熱くなっています。熱くなっているマフラーには決して触れないでください！

エンジンの排気ガスは高温で火花を含むこともあり、火災発生の原因となり得ます。屋内や可燃物のそばでは、決して本機を始動しないでください！

マフラーには発ガン成分となり得る化学物質が使われています。万が一マフラーが損傷した場合、これらの物質に触れないようにしてください。

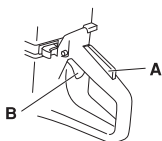
重要事項マフラーに関しては、点検、メンテナンス、およびサービスの指示に従うことが非常に重要です。詳細は「安全装置の点検・メンテナンス・サービス」を参照してください。

マフラーの検査

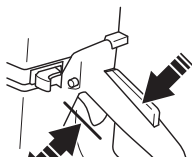
- 欠陥のあるマフラーを装着したパワーカッターは決して使用しないでください。
- マフラーが本機にしっかりと固定されているかどうか、定期的に点検してください。

スロットルロック

スロットルトリガーロックはスロットルトリガーの操作ミスを防ぐためのものです。ロック (A) を押し、スロットル (B) が解除されます。

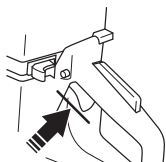


スロットルが押されている間は、トリガーロックは押されたままの状態を保ちます。ハンドルのグリップを放すと、スロットルトリガーとスロットルトリガーロックの両方が元の位置に戻ります。この動作は、2つの独立したリターン springs システムが制御しています。この構造はつまり、スロットルトリガーが自動的にアイドル状態でロックされることを意味します。

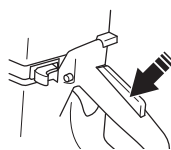


スロットルロックの検査

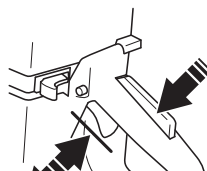
- スロットルロックを放したとき、スロットルトリガーがアイドルの設定になっていることを確認します。



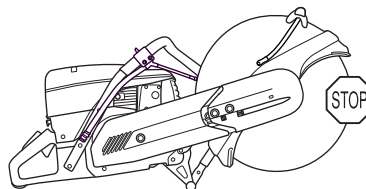
- スロットルロックを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。



- スロットルトリガーとスロットルロックがスムーズに動き、リターン springs が正しく機能していることを点検します。



- パワーカッターを始動し、フルスロットルにします。スロットルトリガーを放せば切断ブレードの走行が停止し静止状態が保たれることを確認します。スロットルがアイドルの位置にあるにもかかわらず切断ブレードが走行する場合は、キャブレターのアイドル調整をチェックしてください。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。

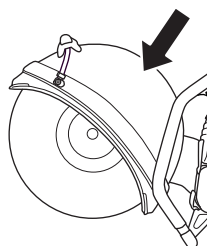


ブレード用ガード



警告！本機を始動する前はいつでも、ブレードガードが正しく装着されていることを確認してください。

カッティングブレードの上にガードが取り付けられています。ガードはブレードや切断小片が作業者に向かって飛ぶのを防ぐためのものです。



ブレードガードの検査

- ガードに問題がなく、ひびや変形のないことを確認します。
- 欠陥のあるガードや、正しく装着されていないガードは使用しないでください。



警告！本機を始動する前はいつでも、ガードが正確に装着されていることを確認してください。カッティングブレードが正しく取り付けられており、損傷が存在しないことを確認します。損傷のあるブレードは、人的な傷害を招きます。「組立」を参照してください。

安全注意事項

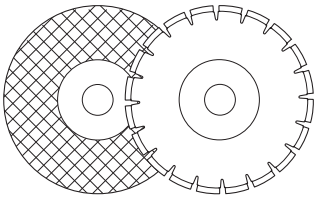
カッティングブレード



警告！カッティングブレードは炸裂し、作業者が損傷を受けることがあります。
 パワーカッターよりも遅い定格速度のカッティングブレードを絶対に使用しないでください。
 カッティングブレードを意図されていない材料には絶対に使用しないでください。

一般注意事項

カッティングブレードは2種類の基本デザインがあります。研磨ディスクと、ダイヤモンドブレードです。



パワーカッターを運搬するときは必ずカッティングブレードを取り外してください。

高品質なブレードは、多くの場合、最も経済的になります。低品質のブレードを使用すると切断能力が劣化し、パワーカッターの耐用年数が短くなります。その結果、切断できる材料の量を考慮するとコスト高になります。

本機に取り付けられるカッティングブレードには、正しいブラシを使用してください。「カッティングブレードの組立」の説明を参照してください。

適切なカッティングブレード

カッティングブレード	K1250	K1250 レール
研磨ディスク	はい*	はい*
レール切断用の研磨ディスク	いいえ	はい
ダイヤモンドブレード	はい	はい**
レスキューブレード	いいえ	いいえ

*水なし

**乾式切断用のダイヤモンドブレード

様々な物質向けの切断ブレード

	コンクリート	金属	レール	プラスチック
研磨ディスク	X	X		X
レール切断用の研磨ディスク			X	
ダイヤモンドブレード	X			

携帯型、高速パワーカッター

弊社のカッティングブレードは携帯用高速パワーカッター用に製造されています。他社のブレードを使用する場合は、そのブレードがこのタイプのパワーカッター固有の必要条件を満たしていることを確認してください。

特殊ブレード

カッティングブレードの中には、固定装置やアタッチメント用に設計されたものがあります。これらのカッティングブレードは携帯用パワーカッターには使用できません。

地域の行政機関に相談して法令への準拠を守ってください。

ブレードの振動

フィード時にかかる圧力が高すぎると、ブレードには、ひずみが生じて、振動することがあります。

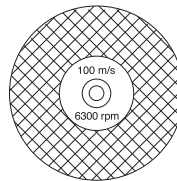
フィード時の圧力を下げることで、振動を停止させることができます。あるいは、ブレードを交換します。ブレードは、切断対象物について推奨された種類を使用する必要があります。

研磨ディスク

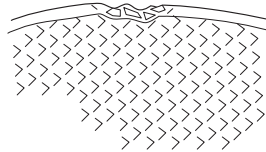
研磨ディスク上の切断素材は有機結合材で接着した粒子から構成されています。「補強ブレード」は繊維または繊維ベースの材料を使用しており、最高作動速度の際にブレードがヒビや損傷を受けても、完全に破損することを防止します。

カッティングブレードの性能は研磨粒子のタイプやサイズ、ならびに結合剤の種類および硬度により決まります。

ブレードがエンジンの定格銘板に記載の速度あるいはそれ以上に準拠しているか確認してください。パワーカッターよりも遅い定格速度のカッティングブレードを使用しないでください。



ブレードにいかなるヒビや破損もないことを確認してください。



研磨ディスクを指で吊り下げ、ねじ回しのようなツールで軽く叩いてください。ディスクから共鳴音が聞こえないときは、破損しています。



様々な材料のための研磨ディスク

ディスクのタイプ	材料
コンクリートディスク	コンクリート、アスファルト、石材、鋳鉄、アルミニウム、銅、真ちゆう、ケーブル、ゴム、プラスチックなど。
金属ディスク	鉄、鉄合金、その他の硬質金属。
レール切断用ディスク	レール



警告！水と一緒に研磨ディスクを使用しないでください。湿気のある研磨ディスクは、不安定となり、パワーカッターや使用者に対して損害をもたらす可能性があります。

レール切断

レール切断には、専用のカッティングブレードのみを使用してください。

安全注意事項

ダイヤモンドブレード

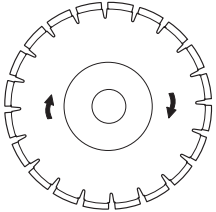


警告！ダイヤモンドブレードでプラスチック材を切断すると、切断に伴って熱が発生し材料が溶け、ブレードに付着し、キックバックを起こすことがあります。

ダイヤモンドブレードは産業用ダイヤモンドを含む刃先が鋼鉄製ブレード本体に付いた構成になっています。

ダイヤモンドブレードは交換頻度が低く、一定の切断深度を保つことができ、切断操作に係るコストを低減することができます。

ダイヤモンドブレードを使用するときは、ブレードに表記された矢印の方向に回転することを確認してください。



常に鋭利なダイヤモンドブレードをお使いください。

材料

ダイヤモンドブレードは石材、補強コンクリート、その他の複合材料の切断に適しています。ダイヤモンドブレードは金属の切断にはおすすめしません。

ダイヤモンドブレードは、様々な硬さの種類において提供されています。「ソフト」なダイヤモンドブレードは、使用期間が比較的短く、切断能力が高めに設定されています。これは、花崗岩や硬化コンクリートなどの硬い物質の切断に使用されます。「ハード」なダイヤモンドブレードは、使用期間が長く、切断能力が低めに設定されています。これは、レンガやアスファルトのような柔らかい物質の切断に使用されます。

ダイヤモンドブレードの研ぎ方

ダイヤモンドブレードは、フィード時に間違った圧力をかけたり、強化鉄筋コンクリートなどの材料を切断すると、鋭さが失われます。にぶくなったダイヤモンドブレードで作業をすると、過熱を招き、これはダイヤモンドセグメントのゆرمみを発生させることがあります。

砂岩やれんがのような柔らかい物質を切断してブレードの目立てを行ってください。

乾式切断用ダイヤモンドブレード



警告！ダイヤモンドブレードは、使用中、非常に熱くなります。過熱したブレードは、変形し、マシンや使用者に対して被害を与えることがあります。

乾式切断を行うときは、ブレードを 30 から 60 秒ごとに切断部から持ち上げ、空気中で 10 秒間ほど回転させ、冷却させるようにします。

湿式切断用ダイヤモンドブレード

コンクリートを切断するときに水冷却を行うことによって、ブレードを冷却させ、その寿命を長くし、またほこりの堆積を減少させます。



警告！ダイヤモンドブレードは、使用中、非常に熱くなります。過熱したブレードは、変形し、マシンや使用者に対して被害を与えることがあります。

湿式切断をするときは、過熱を防ぐためにブレードが継続的に冷却されているようにします。

一般的な作業方法

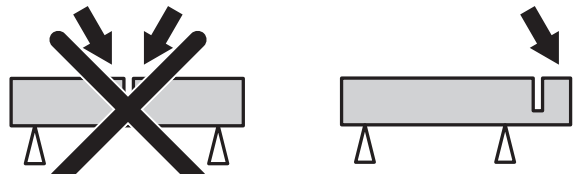


警告！このセクションでは、パワーカッターの使用に際しての基本的な安全注意事項について説明しています。記載された情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。安全性に懸念が生じたら、作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。本機をお買い上げになった販売店、サービス代理店やパワーカッター使用の経験が長い人などに相談してください。確信をもてない作業は行わないでください！

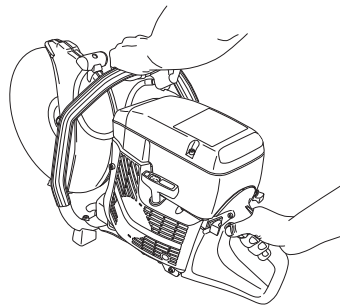
切断のテクニック

次に説明するテクニックは一般的なものです。各ブレードの切断特性に関する情報をお調べください（例えば、ダイヤモンドブレードは研磨ディスクよりもフィード圧が低いなど）。

- 切断対象物は、次に何が起こるか予想でき、切断中に切断面が見えるような支え方をしてください。



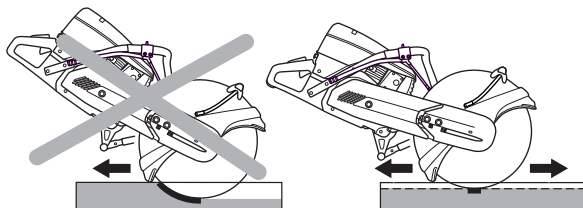
- カuttingブレードが正しく取り付けられていることを確認します。
- 常に、パワーカッターを両手でしっかりと握ってください。親指と 4 本の指で包みこむようにしっかりとハンドルを握ります。



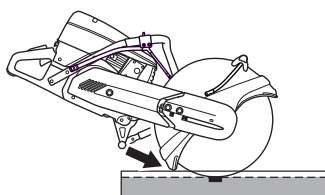
- パワーカッターを始動するとき、ブレードに何も触れていないことを確認します。
- 常に最高速度で切断してください。
- ゆっくりと切断を開始します。ブレードを無理やり押し込んだりせず、パワーカッターの自然な作動にまかせます。常に最大速度で切断してください。

安全注意事項

- ブレードをゆっくり前方、後方へ交互に移動しブレードと切断対象材料の間の接触部分を小さくします。これによりブレードの温度を下げ、切断効果が高まります。



- カッティング装置用ガードを適切に調整して、後ろ側が切断対象物と同一平面になるようにします。ガードは切断物からの飛散物や火花が飛び散るのを防ぎ、作業者を保護します。



- パワーカッターはブレードの線上になるように真っ直ぐに下ろします。横からの圧力はブレードが損傷を受け、非常に危険です。

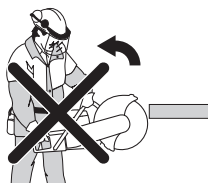


警告！いかなる場合でもブレードの側面で切断をするのは避けてください。損傷や破損を起こし、重大な損害の原因になります。刃先の部分のみを使用してください。

パワーカッターを片側に引っ張らないでください。ブレードが詰まったり破損して人身事故を起こす原因となります。

キックバック

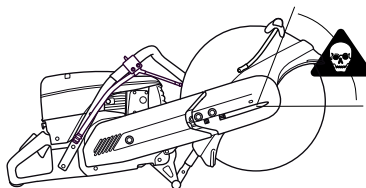
キックバックとは、ブレードの上部 1/4 のところ（キックバックゾーン）が何か他のものに接触し、パワーカッターとカッティングブレードが突然激しくはじき返される現象を言います。



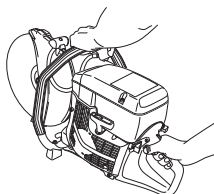
警告！キックバックは突然激しく起こり、パワーカッターがはじき返されて、カッティングブレードが使用者に向かってくる現象を言います。カッティングブレードの回転中にキックバックが発生すると、重傷や時には致命傷の原因となることがあります。キックバックが起こる理由を理解し、正しい技術と慎重な作業で発生を避けることが非常に重要です。

一般的な原則

- 図に示されている、ブレードの先端上部 1/4 のところ（キックバックゾーン）で切断を開始してはいけません。



- 常に、パワーカッターを両手でしっかりと握ってください。親指と 4 本の指で取り囲むようにしっかりとハンドルを握ります。



- バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。
- 常に最高速度で切断してください。
- 切断対象物からほどよい距離に立ちます。
- 既存の切れ目にブレードを挿入するときは注意してください。
- 肩より高い位置で切断を行わないでください。
- 切断対象物の動きや、その他起こり得るどんなことに対しても油断をしないでください。切断面が閉じたりブレードが挟まれたりすることがあります。

プルイン

プルインは、ディスクの下側の部分が突然停止したり切れ目が閉じたりするようなときに発生します。（これを避けるには、「安全に関する基本事項」と下記の「挟み込み/回転」を参照してください。）

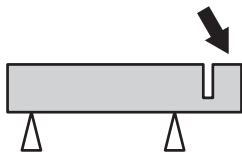
挟み込み/回転

挟み込みは切れ目が閉じるときに起こります。挟み込みが起こると、パワーカッターが、突然、非常に強い力で下方方向に引っ張られることがあります。

安全注意事項

挟み込みの避け方

切断動作中、および切断後に、切断部分が開かれている状態が維持されるよう、作業対象物を固定しておきます。

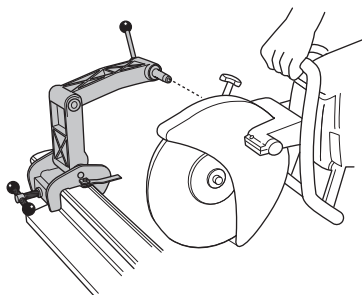


レール切断

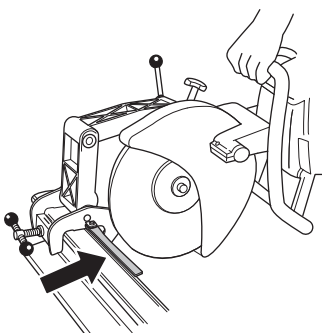
カッティングガイド

カッティングガイドは、切断を行うべき部分においてブレードを誘導するために使用します。最初にパワーカッターを使用するときに、ガイドを切断する必要があります。

- 固定装置とパワーカッターを取り付けます。



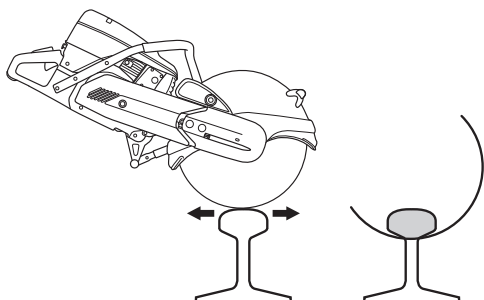
- カッティングブレードを伸ばします。
- カッティングブレードがレールに水平になるように、適切に固定します。



- ガイドを注意深く切断します。

作業手順

- カッティングブレードを伸ばします。
- 切り口を一行に並べ、ガイドをたたみます。
- パワーカッターを前後に水平に動かして、切断作業を開始します。こうすると、カッティングブレードとレール間の接触面が最小化され、ブレードが劣化するリスクを減少させます。

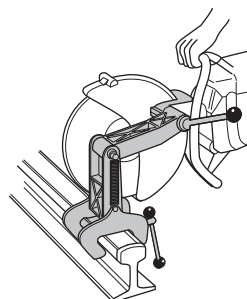


- ヘッド (A) まで切断し、リップ (B) およびフット (C) の切断を続けます。

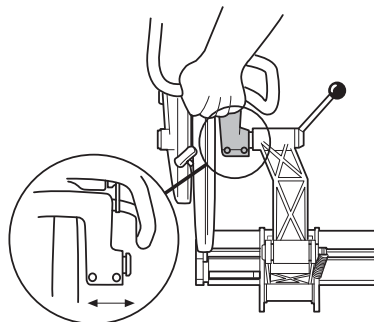


一方向から切断を終えることができないときは、パワーカッターを反対方向からも使用します。

- パワーカッターを停止させます。
- 固定装置からパワーカッターを取り外します。
- パワーカッターの左側を、レール固定装置に取り付けます。



- レールに向けてカッティングブレードを下方に誘導し、カッティングブレードが切断部分の中心に位置していることを確認します。必要であれば、可動式のプッシングを調整して、ブレードが切断部分の中心に位置するようにします。



- 切断を開始します。



一般的な注意事項

- レール切断には、専用のカッティングブレードのみを使用してください。
- 常にフルスロットルで切断してください。パワーカッターが速度制限のすぐ下の速度で動作している場合に、最大の電力負荷が得られます。
- パワーカッターのハンドルを持ち、両手がカッティングブレードと同一方向を向いているようにします。こうすることで、切断速度やディスクの寿命が最大化され、さらに、まっすぐに切断ができます。

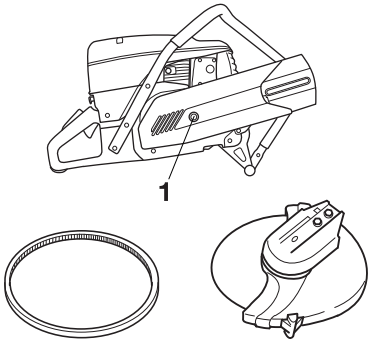
組立

- 切断作業を正しく行っているとき、50 kg/m-rail を切断するのに1分ほどかかります。これよりも時間がかかる時は、切断テクニックを見直してください。発生する問題の多くは、正しくない切断テクニックを原因としています。

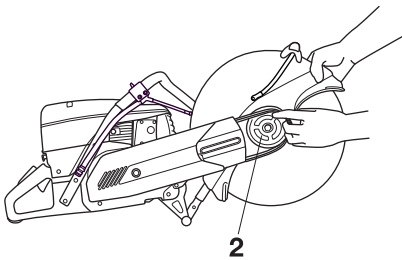
カッティングヘッドの組立

ドライブベルトの取付

ねじ (1) を外します。カバーを外します。ドライブベルトをクラッチドラムに取り付けます。ガードを取り付け、ねじを締めます。

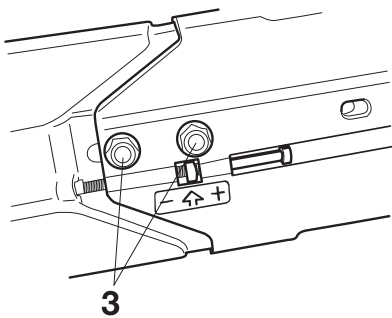


カッティングヘッドのベルトプーリー (2) の上にドライブベルトを走らせます。



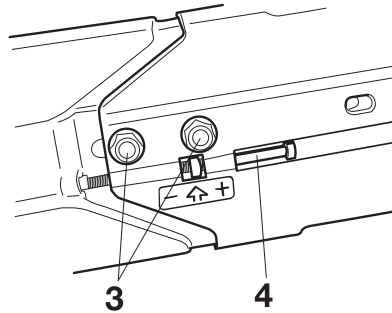
リアベルトカバーをねじで取り付け、フロントベルトカバーをカッティングヘッドに固定します。

手で両方のボルト (3) を締めます。

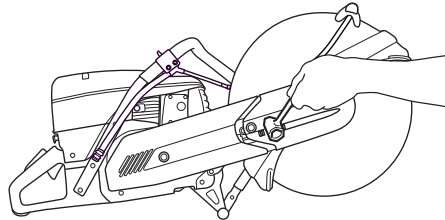


ドライブベルトの引き締め

ドライブベルトを引き締めるときは、ボルト (3) を1回まわして、ゆるめます。



締めねじ (3) を締めて、四角ナットがベルトガード上の矢印と一直線になるようにします。ヘッドを振り、スプリングがベルトを張るようにします。これによって、自動的にベルトを正しい張り具合に調整することができます。コンビレンチで、両方のボルト (4) を締めます。注意！ベルトが取り付けられている場合、ベルトの張り具合は、最初の2タンク分の燃料を消費した後で、再調整される必要があります。

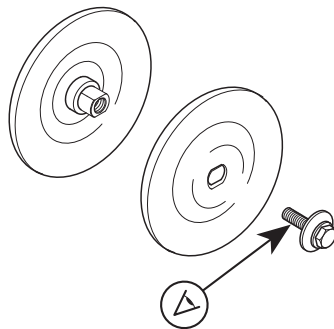


ドライブ車軸とフランジウォッシャーの検査

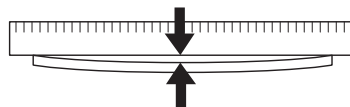


ドライブシャフト上のねじ山に損傷がないか確認します。

ブレードとフランジウォッシャーの接触面に損傷がないこと、正しいサイズであること、汚れがなく、ドライブ車軸上で適切に動作することを確認します。



曲がっていたり、角がかけていたり、不均衡であったり、または汚れているフランジウォッシャーは使用しないでください。違ったサイズのフランジウォッシャーは使用しないでください。

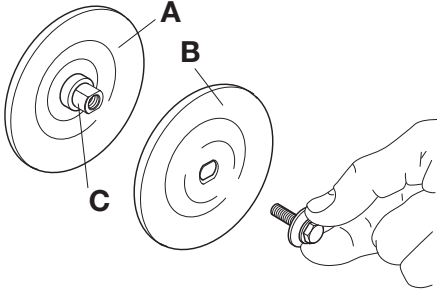


組立

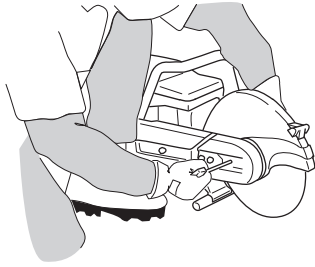
カッティングブレードの取付

Husqvarna のカッティングブレードは、フリーハンドでの切断のために製造および承認されています。ブレードの両サイドに紙ラベルがあり、フランジワッシャの圧力を分散させ、ブレードが滑らないようにしています。

ブレードは、内部フランジワッシャ (A) とフランジワッシャ (B) の間のブッシング (C) 上に設置されます。フランジワッシャを回し、軸へ取り付けます。



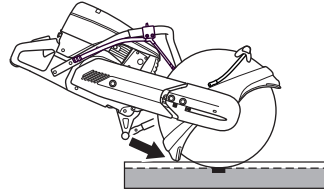
シャフトは、ドライバや鋼鉄製のピン、または同種のものを使用してロックできます。ピン等を止まるまで挿入します。ブレードを時計回りに締めます。



ブレードを止めているボルトの締め付けトルクは以下の通りです。15-25 Nm (130-215 in.lb)。

ブレード用ガード

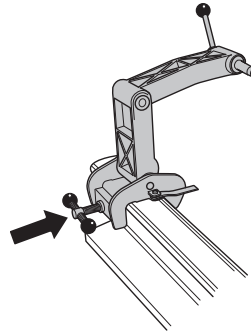
ブレードガードを、パワーカッターに必ず取り付けてください。ガードが、背面部が作業対象物の方を向くように、調整してください。ガードは切削くずや火花が飛び散るのを防ぎ、使用者を保護します。



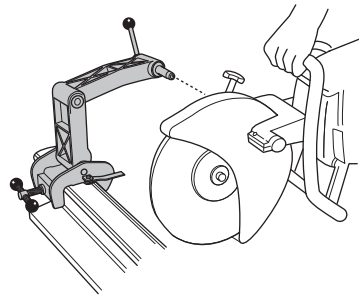
警告！ 16 インチブレードは、もともと 16 インチブレードガードが装備されているパワーカッターにのみ使用してください。スペアパーツとしてのガードを、12 または 14 インチのガードを装備しているパワーカッターに取り付けると、16 インチブレードは速く回転し過ぎてしまいます。あまりにも早く回転すると、カッティングブレードは破損したり、あるいは重大な損害を招くことがあります。

レール固定装置の組立

レール固定装置をレールに取り付けます。ロックハンドルをきつくねじで締めます。



パワーカッターの右側を、レール固定装置に取り付けます。



燃料の取扱

燃料

注意！本機は2サイクルエンジンを搭載しているため、運転にはガソリンと2サイクル・エンジンオイルとの混合燃料が必要です。正しい混合率を確保するためには、オイルの量を正確に計量することが重要です。少量の燃料を混合する場合は、わずかな誤差でも配合に多大な影響を及ぼすことがあります。

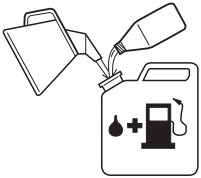


警告！燃料を取り扱う際は、常に十分な換気を行ってください。

事故のときに、助けを求めることができない状況で、パワーカッターを使用してはいけません。

ガソリン

- 無鉛または有鉛の良質なガソリンをご使用ください。



- 推奨される最低オクタン価は90です。90以下のオクタン価でエンジンを作動させると、ノッキングの原因となることがあります。ノッキングが起きるとエンジンの温度が上がって、エンジンの深刻な損傷につながる場合があります。

2サイクルオイル

- 最良の効果を得るに、HUSQVARNA 2サイクルオイルをご使用ください。このオイルは本機の2サイクルエンジン用として特別に作られています。
- アウトボードオイル (TCW) と呼ばれる水冷式船外機用の2サイクルオイルは絶対に使用しないでください。
- 4サイクルエンジンオイルも絶対に使用しないでください。

混合比

1:50(2%)、HUSQVARNA 2サイクルオイル

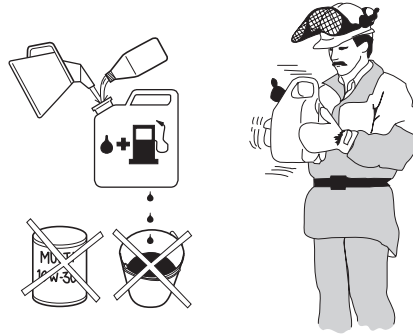
1:33(3%)、オイルクラス JASO FB または空冷 2サイクルエンジン ISO EGB

ガソリン、リットル	2サイクルオイル、リットル	
	2% (1:50)	3% (1:33)
5	0,10	0,15
10	0,20	0,30
15	0,30	0,45
20	0,40	0,60

混合

- ガソリンとオイルを混合するときは、常に清潔な燃料用容器をご使用ください。
- 必ず使用予定の半量のガソリンを、最初に容器に入れます。次に、オイルの全量を入れます。混合燃料をよく混ぜ（振り）ます。最後に残りのガソリンを加えます。

- パワーカッターの燃料タンクに給油する前に、混合燃料を良く混ぜ（振り）ます。



- 1ヵ月分以上の混合燃料を一度に作らないでください。
- パワーカッターをしばらく使わないときは、燃料タンクを空にし、清掃してください。

給油



警告！火災を避けるため、以下の注意を守ってください。

燃料付近で喫煙したり、近くに高温の物を置かないでください。

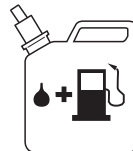
給油の際には必ずエンジンを止めてください。

給油の際には、超過圧力が徐々に放出されるよう、燃料キャップをゆっくり開けてください。

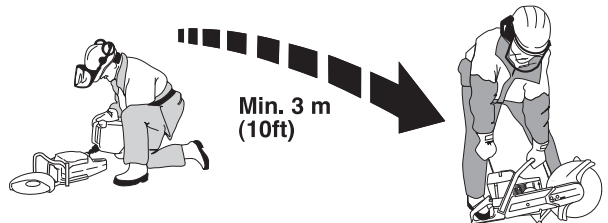
給油後は燃料キャップをしっかり閉めてください。

パワーカッターを始動する際は、必ず給油場所から移動してください。

- ハンドル部は乾いており、オイルや燃料が付着しないように気をつけてください。
- 混合燃料は、給油前に容器を良く振って混ぜてください。



- 燃料の給油時には、いつも注意を払ってください。パワーカッターを始動させるときには、給油場所から少なくとも3メートル離れた場所に移動させてください。燃料キャップが正しく締まっているか確認してください。



- 燃料キャップの周辺をきれいにします。燃料タンクとオイルタンクは、定期的な清掃が必要です。燃料フィルターは、少なくとも年に一度交換してください。タンク内の汚れは、故障の原因となります。

始動と停止

始動前に



警告！始動時には以下の注意点を守ってください。

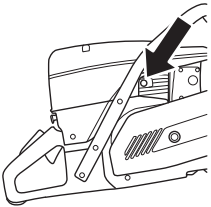
ベルトガードが装着されていない状態でパワーカッターを始動させないでください。クラッチが外れて負傷の原因となることがあります。

パワーカッターを始動する際は、必ず給油場所から移動してください。

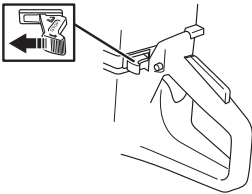
パワーカッターを正しく持ち、カッティングブレードが物に当たることなく自由に回転するようにしてください。

作業現場に関係者以外の人や動物がいないことを確認してください。

デコンパバルブ：シリンダー内の圧力を下げるため、バルブを押してください。これは、パワーカッターの始動を助けるためのものです。デコンパバルブは、始動時には常に使用してください。パワーカッターの始動時、バルブは自動的に初期位置に戻ります。

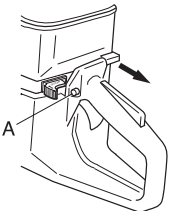


停止スイッチ：停止スイッチ (STOP) が、左の位置にあることを確認してください。

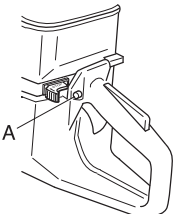


スタートスロットル位置 - 常温エンジン：チョークコントロールを完全に引き出します。

スロットルトリガーロック、スロットルコントロール、スタートスロットルロック (A) の順に押します。スロットルコントロールを開放すると、半スロットル位置にロックされます。スロットルコントロールが完全に押されると、ロックが解放されます。

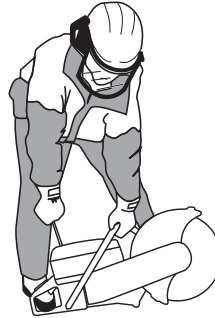


スタートスロットル位置 - 暖気エンジン：スロットルトリガーロック、スロットルコントロール、スタートスロットルロック (A) の順に押します。スロットルコントロールを開放すると、半スロットル位置にロックされます。スロットルコントロールが完全に押されると、ロックが解放されます。



始動

左手で前ハンドルを握ります。後ろハンドルの下側に右足を乗せ、パワーカッターを地面に押し付けます。スターターロープは絶対に手に巻き付けしないでください。



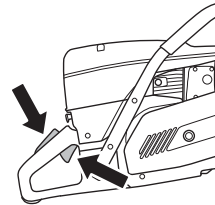
警告！カッティングブレードは、エンジンが始動すると回転します。ブレードが自由に回転することを確認してください。

右手でスターターハンドルを握り、抵抗を感じる（歯止めにかかる）までゆっくりとスターターロープを引き出します。次に素早く、強くロープを引っ張ります。

注意！スターターロープをいっぱい引き出し、引っ張った状態からスターターハンドルを急に放さないでください。パワーカッターに損傷を与える可能性があります。

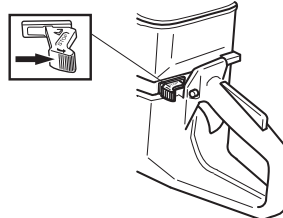
常温エンジンの場合：エンジンに点火したらすぐにチョークコントロールを押し、エンジンが始動するまでロープを引き続けます。

エンジンが始動したら、素早くフルスロットルにすることにより、自動的に高速アイドルリングが開放されます。



停止

ストップスイッチ (STOP) を右に移動させることで、エンジンが停止します。

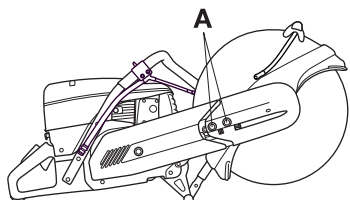


メンテナンス

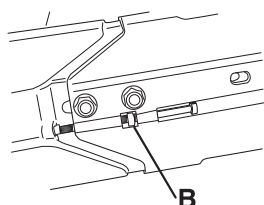
ドライブベルトの張り具合



- ドライブベルトは完全密封され、ほこりや汚れから効果的に保護されています。
- ドライブベルトに張りを与えるために、カuttingヘッドとベルトガードを支えているねじ (A) を少し緩めます。



- ねじ (B) がガード上の矢印の真下になるように、テンションねじを回します。ヘッドを振り、スプリングによって確実にベルトが張れるようにします。こうするとベルトには自動的に適正な張りが与えられます。



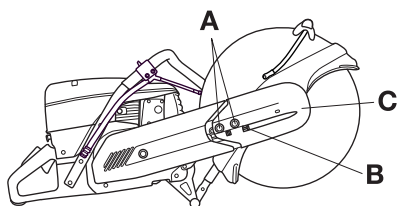
- カuttingヘッドを支えているねじを締めます。

重要事項 新しいドライブベルトは、燃料を 1 または 2 タンク分使用した後で、張りの調整をしてください。

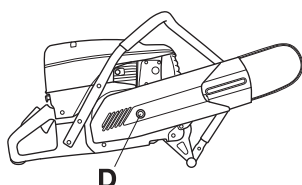
ドライブベルトの交換



- 2 個のねじ (A) を緩めます。



- 張りが緩むまでテンションねじ (B) を回します。
- 2 個のねじ (A) を取り外します。
- フロントベルトガード (C) を外します。
- ベルトプーリーからベルトを外します。
- カuttingヘッドを取り外します。
- ねじ (1) を外します。サイドカバーを外します。



- ドライブベルトを交換します。
- 解体をした順番と逆の順番で、組立を行います。

- カuttingブレード上のブレードガードを検査し、ひび割れや損傷がないかを確認します。損傷があるときは交換します。



警告! カuttingブレード上にブレードガードがない状態で、パワーカッターを使用しないでください。

ベルトプーリーとクラッチ

ベルトプーリーとクラッチがメンテナンスのために外されているときは、決してエンジンを始動させないでください。

キャブレター

Husqvarna の製品は、有毒排気を減少させる仕様に基づき設計・製造されています。燃料タンクを 8 から 10 タンク分使用すると、そのエンジンの慣らし運転が終了したことになります。慣らし運転終了後、最高の性能を維持し、有害物質の排出を最小限に抑えるためには、エンジン回転計を備えた販売店/サービス代理店に、キャブレターの調整を依頼してください。

機能



警告! カuttingアームまたはカuttingヘッドが取り付けられていない状態で、パワーカッターを始動させないでください。クラッチが外れて負傷の原因となることがあります。

- キャブレターはスロットルを介してエンジンの速度を制御します。キャブレター内で空気と燃料が混合されます。

高速ノズル

キャブレターには、エンジンが確実に適正な空気燃料混合物を受け取るための、固定 H ノズルが装備されています。エンジンのパワーが不足したり、加速が不十分なときは、以下実行してください。

- エアフィルターを確認し、必要であれば交換します。
- 効果がないときは、弊社指定のサービス代理店に問い合わせてください。

低速スクリー L

スロットルを 2 回全開にして、カッターがよどみなく加速するかどうかを確認します。L の基本設定：1 1/4 回転開き調整が必要なときは、最大アイドリング速度にします。それには、エンジンが燃料枯渇状態になるまで、低速スクリー L を時計方向にゆっくりと回しながら閉じます。それから、1/8 (反時計方向に) 回転分開きます。エンジン加速を点検します。

注意! 低速スクリーをあまり絞り込む (L スクリューを閉じすぎる) と、エンジンが始動困難になります。

アイドリング速度の微調整 T

アイドリング速度を T スクリューで行います。調整が必要であれば、ブレードが回転を開始するまで、スクリーを時計回りに回します。次に、ブレードが回転を停止するまで、スクリーを反時計回りに回します。エンジンがよどみなく加速するようであれば、アイドリング速度が正確に調整されています。

推奨アイドリング速度：2500 rpm



警告! アイドリング速度を調整しても、ブレードを停止させるような設定に調整できない場合は、販売店/サービス代理店に問い合わせてください。パワーカッターのご使用は調整または修理が適切に行われるまでお控えください。

メンテナンス

燃料フィルタ

- 燃料フィルタは、燃料タンクの内部にあります。
- 燃料タンクに給油するときは、不純物が入ることがないようにしてください。タンク内の目詰まりによる動作不全の危険を減少させます。
- フィルタが目詰まりした場合は、清掃することはできません。新しいものと交換してください。フィルタは最低でも1年に1回は交換してください。

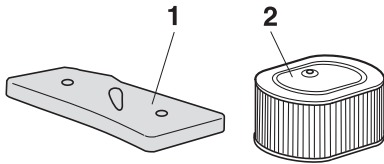
エアフィルタ



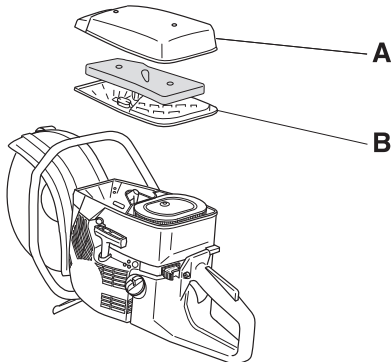
以下を回避するため、エアフィルタのほこりやゴミを取り除いて定期的に掃除してください。

- キャブレターの故障
- 始動不良
- エンジン出力の減少
- エンジン部品の余計な摩耗
- 異常な燃料消費

エアフィルタシステムは、潤滑されたフォームプラスチックフィルタ (1) と紙フィルタ (2) によって構成されています。



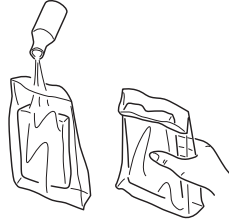
- フォームプラスチックフィルタは、フィルタカバーAの下で容易に見つけることができます。このフィルタは、週ごとに点検をし、必要であれば交換します。適切なフィルタ効果を得るため、フィルタは定期的に交換し、あるいは清掃・オイルをさします。専用のHUSQVARNA オイルが製造されています。



フォームプラスチックフィルタを取り外します。ぬるめの石鹼水でフィルタをよく洗います。洗浄後、フィルタをきれいな水ですすぎます。水けを絞り、フィルタを乾燥させます。注意！高圧の圧搾空気はフォームに損傷を与えることがあります。



フィルタをプラスチックのバッグに入れ、フィルタオイルを上に流します。プラスチックバッグをもみ、オイルをまんべんなく広げます。プラスチックバッグ内でフィルタから余分な油を絞り、フィルタをパワーカッターに取り付ける前に余分な油を切ります。一般的なエンジンオイルを使用しないでください。一般的なオイルは、フィルタを通じて非常に速く排出され、底にたまってしまいます。



- 紙フィルタはカバーBの下にあります。このフィルタは、エンジンのパワーが低下したとき、あるいは1週間か2週間後に、交換/清掃される必要があります。フィルタを振ったり、あるいは注意深く圧搾空気を吹き付けることにより、フィルタを清掃します。フィルタは水洗いをしてはいけません。

長期間使用したエアフィルタはどんなに洗っても完全にきれいにはなりません。定期的に新品のフィルタと交換してください。破損したエアフィルタは必ず交換してください。

重要事項

エアフィルタのメンテナンスを怠ると、スパークプラグに炭素がたまり、エンジン部品に異常な損耗が生じます。

スターター



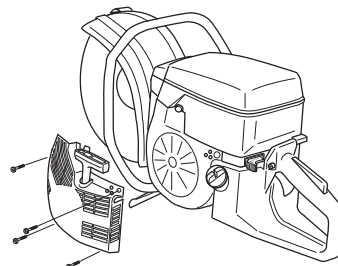
警告！リコイルスプリングは引っ張られた状態でスターターハウジング内に収まっているので、不注意に取り扱くと飛び出して人的傷害をもたらすことがあります。

リコイルスプリングやスターターロープを交換するときは、注意深く行ってください。常に保護めがねを着用してください。

切れたり擦り減ったりしたスターターロープの交換

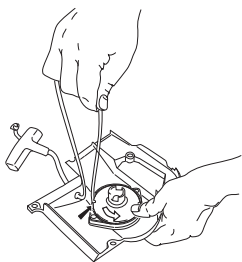


- スターターをクランクケースに固定しているねじをゆるめ、スターターを外します。

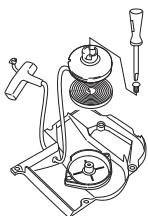


メンテナンス

- ロープを約 30 cm 引き出し、プーリー外周の切欠部にロープをかけます。プーリーをゆっくりと逆回転させ、リコイルスプリングの張力を解放します。



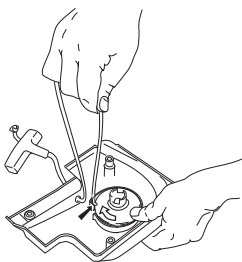
- スタータープーリーの中心にあるねじを緩め、プーリーを引き上げます。新しいスターターロープをプーリーに挿入し、固定します。ロープをプーリーに約 3 回転分巻きつけます。リコイルスプリングの端がプーリーに引っ掛かるように、プーリーをリコイルスプリングに取り付けます。プーリーの中心にねじを取り付けます。新しいスターターロープをスターターハウジングとスターターハンドルの穴に通します。ロープの端にしっかりと結び目を作ります。



リコイルスプリングの伸張

- スターターコードをプーリーの切欠部から引っ張り上げ、プーリーを時計方向に約 2 回転させます。

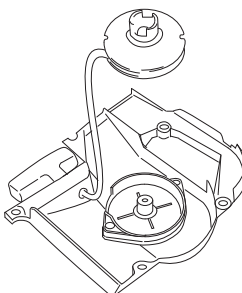
注意！スターターコードを完全に伸ばしたときに、スタータープーリーが確実に少なくともさらに半回転できるようにしておいてください。



破損したりコイルスプリングの交換



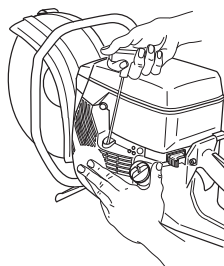
- スタータープーリーを持ち上げます。「切れたり擦り減ったりしたスターターロープの交換」を参照してください。リコイルスプリングは、引っ張られた格好でスターターハウジング内に収まっていますので、注意してください。
- スプリングカセットを固定しているボルトをゆるめます。



- プーリーを（その内側を下に向けて）作業台やそれと同様の物に対してコツコツと叩きつけて、リコイルスプリングを外します。組立のときバネが飛び出す場合は、バネを中心にに向けて出し入れしながら付け直してください。
- リコイルスプリングに薄いオイルをさします。プーリーを取り付け、リコイルスプリングを引っ張ります。

スターターの取付

- スターターを取り付けるには、まずスターターロープを引き出し、スターターをクランク室の所定の位置に置き取り付けます。プーリーの中でつめがかむように、スターターロープをゆっくり放します。



- スターターを固定しているねじを取り付け、締めます。

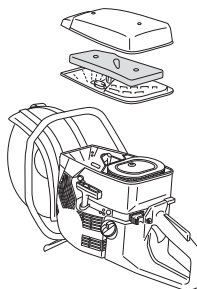
スパークプラグ



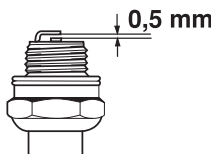
スパークプラグの状態は次の原因によって悪化します。

- 不適切なキャブレターの設定
- 間違った燃料混合（オイルが多すぎるなど）
- 汚れたエアフィルタ

これらの原因により、スパークプラグの電極に付着物が生じ、結果として故障や始動不良を起こす可能性があります。



- パワーカッターの出力が低い、始動困難、アイドル中の走行不良などの場合、まず始めにスパークプラグを点検してください。スパークプラグが汚れている場合は、清掃し、電極間隔が 0.5 mm になっているかどうかを確認します。スパークプラグは、運転約 1 か月間後、または必要に応じてそれよりも早く交換してください。



注意！スパークプラグは必ず推奨タイプのものを使用してください！不適切なスパークプラグを使用すると、ピストンやシリンダーを損傷する原因となります。

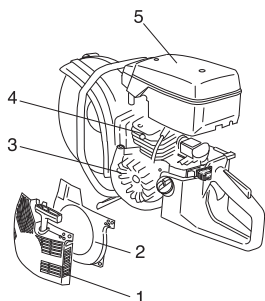
メンテナンス

冷却システム



運転中の温度をできるだけ低く保つため、パワーカッターは冷却システムを装備しています。

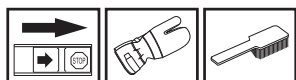
冷却システムは次のものによって構成されています。



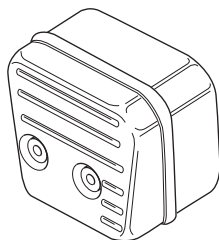
- 1 スターター装置の空気取り入れ口
- 2 通気ガイド
- 3 フライホイールの冷却フィン
- 4 シリンダの冷却フィン
- 5 シリンダカバー

1週間に一度、あるいは過酷な条件での使用ならそれよりも多い頻度により、ブラシで冷却システムを清掃します。汚れた、あるいは詰まっている冷却システムは、パワーカッターを過熱状態にし、ピストンやシリンダーに損傷を与えることとなります。

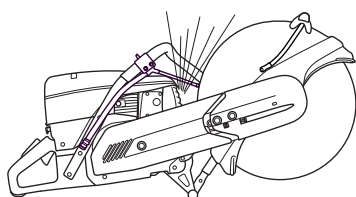
マフラー



マフラーは騒音のレベルを最小限に抑え、排気ガスを使用者から遠ざける働きをします。排気ガスは高温で、火花を含むことがあります。火花が、乾燥した可燃性の物質に飛び移ると、火災を発生させることがあります。

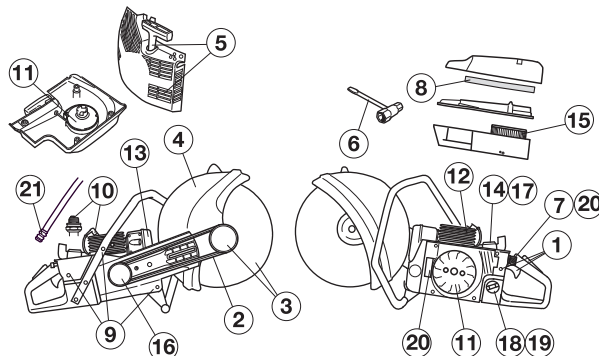


欠陥のあるマフラーが取り付けられたパワーカッターは使用してはいけません。



一般的なメンテナンス方法

メンテナンスについて、概略を以下に説明します。詳しい質問がある場合は、サービス代理店に問い合わせてください。



毎日のメンテナンス

- 1 スロットルコントロールの部品が正しく働くかどうかを点検する（スロットルコントロールとスロットルトリガーロック）。
- 2 ドライブベルトの張り具合を点検する。
- 3 ブレードとドライブギアの状態を点検する。
- 4 ブレードガードの状態を点検する。
- 5 スターターおよびスターターロープを点検し、スターターユニットの空気取り込み口の外側を清掃する。
- 6 ナットおよびねじが確実に閉められているか点検する。
- 7 停止スイッチが正しく働くか点検する。

毎週のメンテナンス

- 8 メインフィルタを点検、清掃、交換する。
- 9 ハンドルや防振装置が損傷を受けていないか点検する。
- 10 スパークプラグを清掃する。電極間隔が 0.5 mm あるかどうか点検する。
- 11 フライホイールのフィンを清掃する。スターターとリコイルスプリングを検査します。
- 12 シリンダーの冷却フィンを清掃する。
- 13 マフラーがしっかりと固定され、損傷がないことを確認する。
- 14 キャブレターの動作を確認する。

毎月のメンテナンス

- 15 紙フィルターを点検する。
- 16 クラッチセンター、ドライブギア、およびクラッチスプリングに損耗がないか点検する。
- 17 キャブレターの外側を清掃する。
- 18 燃料フィルタと燃料ホースをてんけんする。Replace if necessary.
- 19 燃料タンクの内部を清掃する。
- 20 すべてのワイヤーと接続部を点検する。
- 21 定期的に接続部のフィルタを点検および清掃し、必要であれば交換する。

主要諸元

エンジン	K1250	K1250 レール
排気量、cm ³	119	119
口径、mm	60	60
行程、mm	42	42
アイドリング回転数、rpm	2500	2500
推奨アイドリング最大回転数、rpm	9750 (+/- 250)	9750 (+/- 250)
出力、kW/ rpm	5,8	5,8
イグニッションシステム		
イグニッションシステムのメーカー	EM	EM
イグニッションシステムの型式	ET	ET
	Champion RCJ 6Y/ NGK	Champion RCJ 6Y/ NGK
スパークプラグ	BPMR 7A	BPMR 7A
電極間隔、mm	0,5	0,5
燃料および潤滑システム		
キャブレターのメーカー	Walbro	Walbro
キャブレターの型式	WG 9	WG 9
燃料タンク容量、リットル	1,25	1,25
重量		
燃料とカッティングブレードを除くパワーカッター本体、kg		
14" (350 mm)	13,6	15,2
16" (400 mm)	14,4	15,9
レール固定装置、kg		
RA10		5,3
RA10 S		5,7
カッティング装置		
カッティングブレード	最大周速、m/s	出力シャフト最高速度、rpm
14" (350 mm)	100	5100
16" (400 mm)	100	4700



取扱説明書（オリジナル）

1153351-79



2010-02-10